

要綱第3号様式

## 事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都市長		平成28年8月17日					
報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市山科区西野山射庭ノ上町294-1		報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) 株式会社 王将フードサービス 代表取締役 渡邊 直人 電話 075-592-1411					
主たる業種	飲食業(中華料理レストランチェーン)				細分類番号	7   6   2   3	
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> ア 京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号 <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ						
計画期間	平成26年4月から平成29年3月まで						
基本方針	環境問題全般に対し、積極的・計画的に対応していく。温暖化防止対策としては未利用・低利用エネルギー(太陽光・太陽熱・雨水等)、バイオマス(間伐材等)の利活用を積極的に推し進める。						
計画を推進するための体制	環境問題対策課を中心に事案ごとにプロプログラムを組み、計画的に対応していく。計画を長期・中期・短期・情報収集期と区分し、進捗状況を確認しながら推進していく。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (23~25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	6,336.6 トン	5,636.2 トン	5,408.5 トン		-12.9 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	6,651.2 トン	5,636.2 トン	5,408.5 トン		-17.0 パーセント	
	実績に対する自己評価	定休日など営業時間短縮の影響で少しではあるが削減できている。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率
	店舗	事業活動に伴う排出の量 (客席数)	2.47	2.28	2.25		-8.30 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
		実績に対する自己評価	徐々に削減できている。継続させることが肝要。				
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考	
		106.0 パーセント	105.0 パーセント	105.0 パーセント			
具体的な取組及び措置の内容	(26)年度	老朽化した空調機の更新。遮熱・断熱・デマンド制御等による空調負荷の低減。高効率照明(LED等)への変更。					
	(27)年度	LEDへの変更や空調機のこまめな清掃や省エネタイプへの更新。					
	(28)年度						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	各自の判断により最善な移動方法を考え実践させる。					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	各自の判断に基づいて実施できている。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの		トン	トン	トン		
	地域産木材の利用によるもの		トン	トン	トン		
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの		トン	トン	トン		
	グリーン電力証書等の購入によるもの		トン	トン	トン		
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量によるもの		トン	トン	トン		
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	なし						
特記事項	京都市産杉木を使った木製看板を12店舗に設置した。						

注1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

注4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。